

# 銅・アルミ

## 市況見通し

### 5月

銅

3月の伸銅品生産(速報値)は、前年同月比で13・5%増の6万9610ト。対前年同月比では3カ月連続の増加となった。

自動車と半導体の好調が継続しており、銅管が8674トで同6%減。

# 橋本アルミ取締役 橋本 健一郎氏レポート



3月の銅電線出荷量は同0・9%増の5万9300トで、うち国内が同1%増、輸出が同4・2%減。銅輸出は、電気銅が同11・6%増の6万2

条・黄銅条・青銅板条は高水準。黄銅棒は2ケ月連続の前年比プラスとなった。銅管はマ

品種別では銅条が2万5069トで同22%増、黄銅棒が1万6010トで同15%増、黄銅条が9477トで同20%増、青銅板条が751トで同20%増、銅管が8674トで同6%減。

3月の銅電線出荷量は同0・9%増の5万9300トで、うち国内が同1%増、輸出が同4・2%減。銅輸出は、電気銅が同11・6%増の6万2

### 5月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	10000~11000 <sup>F</sup> ル	強い
電気銅建値	115~125万円	強い
高替(1 <sup>F</sup> ル)	107~110円 (1カ月間TTM)	円高

### 銅スクラップ 景況予想

銅建値が102万円から108万円まで急騰、このため発生が少なく流通在庫は少ない。需要面は、半導体不足に伴う自動車需要の減少傾向が指摘されて

減少傾向が指摘されて記録したこと、2021年1~3月期の中国の経済成長率が18・3%と四半期の数値公表が始まった1992

年以降で最高を記録したことから、中国景気は順調に回復すると予想している。

### アルミ

今月は「米経済、景気対策」と「中国の景気動向に左右される。前者は、4月28日のFOMC(連邦公開市場委員会)声明で雇用

3月のアルミニウム・8%減の11万1692次合金・同合金地金ト、アルミ二次合金が同18・1%増の10万2170ト、アルミスクラップが同0・4%増の496ト、アルミ合金スクラップが同49・1%増の5711トだった。

アルミ輸出は、相場急騰や外需が比較的好調なことを受けて大幅に増加。過去10年で最大の輸出量となった。アルミ輸入は、国内自動車販売の好調からアルミ合金地金およびアルミスクラップが大幅増となった。

3月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同7・1%増の16万9848トとなり3

### アルミスクラップ 景況予想

今月は「米経済、景気対策」と「中国の景気動向に左右される。前者は、4月28日のFOMC(連邦公開市場委員会)声明で雇用

### 5月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ 現物後場買い	2400~2600 <sup>F</sup> ル (現物後場買い)	強い
スクラップ	据え置きから プラス10~15円 (前月最終価格より)	強い

LME価格は2400<sup>F</sup>で高止まりしているが、先高感や半導体不足により発生は少ない。需要面は、予想外に販売が堅調。これによる材料の不足、国際相場の高騰による輸入不足から、メーカー在庫は少ない状況となっている。